

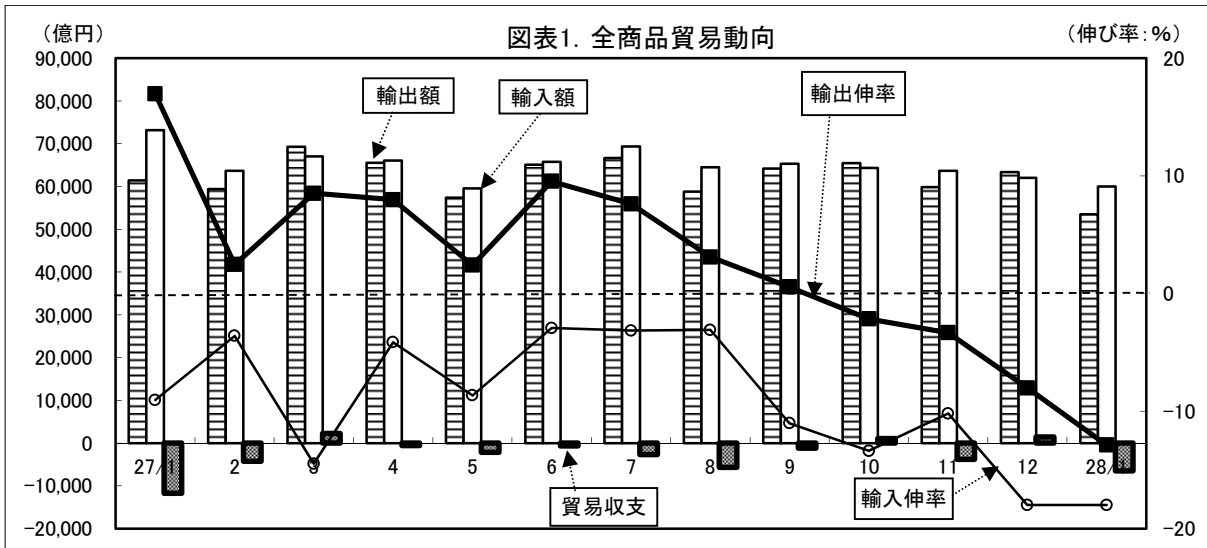
最近の機械貿易動向(1月)～機械輸出伸び率4ヶ月連続マイナス～

日本機械輸出組合 2016.3.14.

平成28年1月の機械輸出額は3兆4,914億円、対前年同月比10.4%減と、4ヶ月連続でマイナスとなった。これは、①6地域向けすべてでマイナスとなったこと、②自動車、産業機械、電子デバイス等が大きくマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が0.4%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は10.0%減と8ヶ月連続でマイナスとなった。平成28年2月の為替・営業日要因は5.4%の増加寄与要因となっているが、3月8日発表の貿易統計速報によれば2月上中旬の全商品輸出は2.8%減であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は4ヶ月連続、輸入は13ヶ月連続でマイナス～

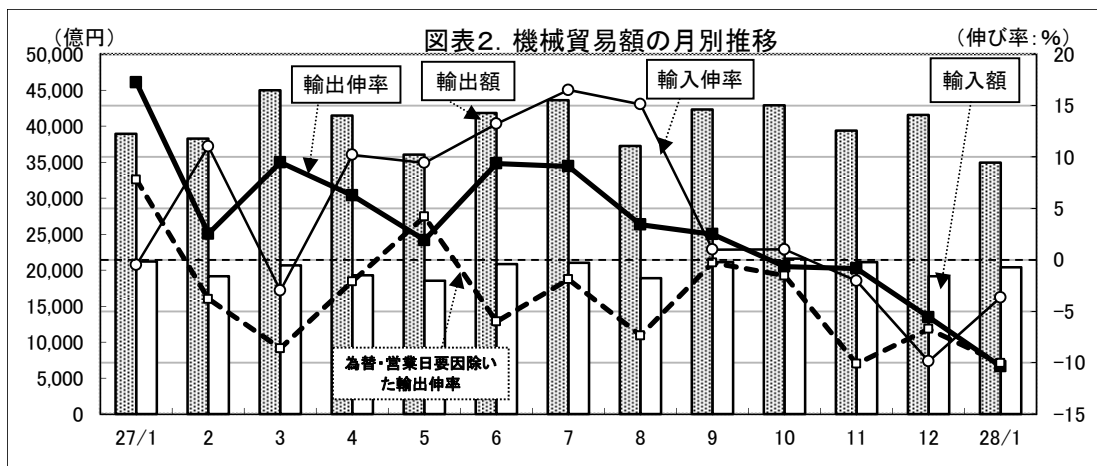
- 平成28年1月の全商品輸出額は**5兆3,514億円**、前年同月比(以下同じ)**12.9%減**と4ヶ月連続でマイナスとなった(1月8.0%減)。これは、全輸出額の約11%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(22.0%減)、18%の一般機械(17.0%減)、17%の電機機器(11.7%減)等がマイナスとなったためである。
- 輸入額は**6兆2億円**、**18.0%減**と13ヶ月連続でマイナスとなった(12月18.0%減)。これは、全輸入額の約19%を占める原粗油等鉱物性燃料(44.7%減)が原油価格下落等で大幅に減少したことに加え、10%を占める一般機械(10.4%減)、9%の原料別製品(14.5%減)が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、6,488億円の赤字となった。(12月は1,403億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は4ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約65%を占める1月の機械輸出額は**3兆4,914億円**、**10.4%減**と4ヶ月連続でマイナスとなり(12月5.6%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年1月)と比べると**79.8%**となって、前月に比べて1.5ポイント悪化した(12月81.3%)。
- 一方、全商品輸入額の約34%を占める機械輸入額は、**2兆421億円**、**3.6%減**と3か月連続でマイナスとなった(12月9.9%減)。リーマンショック前(2008年1月)の水準と比較しても18.9%増となっている。

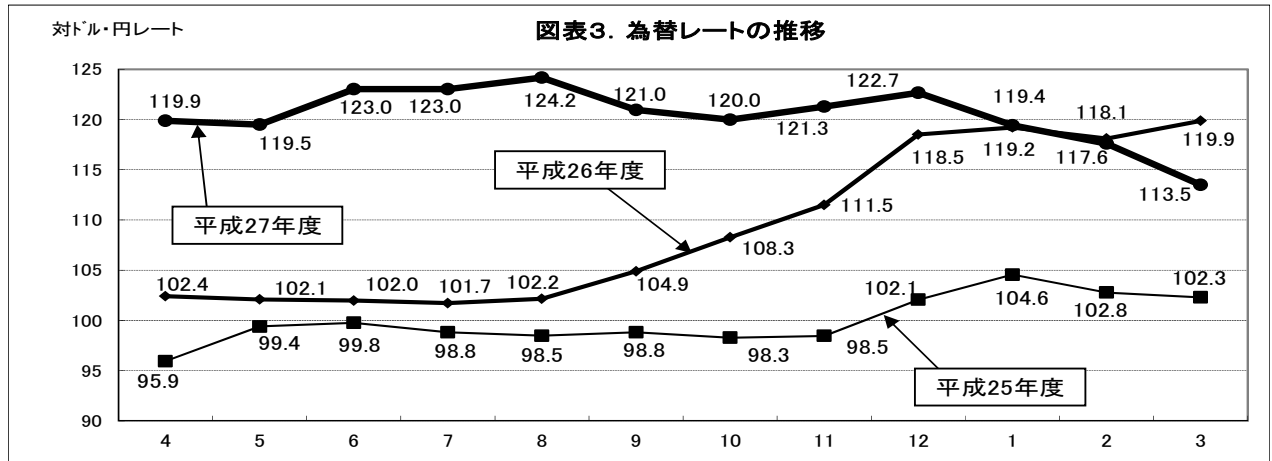


(2) 為替動向・営業日～1月は0.4%の減少要因、2月は約5.4%の増加要因～

1) 1月は1ドル=119.4円となり、前年に比べ0.2%の円安となった。また、対ユーロは130.2円と前年に対して9.1%の円高となり、合わせて約0.4%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じため、合計で0.4%の減少要因となる。1月の輸出額は10.4%減であったことから、実質的伸び率は10.0%減と8ヶ月連続でマイナスとなった(12月6.7%減)。

2) 2月は1ドル=117.6円で前年比0.4%の円高、対ユーロでは129.3円で前年比3.9%の円高となり、合わせて約0.4%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.8%の増加要因となり、合計で5.4%の増加要因となる。

3) 3月は、対ドルが3月10日17:00時点の113.5円とすれば、前年に比べて5.3%の円高、また、対ユーロは124.5円で6.7%の円高となり、合わせると約3.2%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約3.2%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～すべての地域向け輸出が前年同月比マイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、プラスとなった地域はなく、一番大きく減少したのが、①全体の18.1%を占める中国向けで、全体の17%を占める産業機械(26.5%減)をはじめ、電子デバイス(14.8%減)、自動車(14.7%減)が大きく減少して20.1%減となった。②14.0%のASEAN・南アジア向けは、ベトナム(33.7%減)、シンガポール(24.1%減)、インドネシア(23.4%減)、タイ(20.7%減)等が大幅に減少し、業種では、全体の25%を占める自動車(13.2%減)、20%の産業機械(18.6%減)、電子デバイス(23.7%減)等がマイナスとなって18.5%減となり、③9.5%を占める韓国・台湾向けは産業機械(7.6%減)、自動車(10.4%減)、光学機械(23.5%減)等が減少して9.0%減となった。④12.8%を占めるEU向けは、35%を占める自動車(0.4%減)がほぼ横這いとなったものの、産業機械(23.8%減)や軽電気機械(10.4%減)が大きくマイナスとなって5.3%減となった。⑤27.1%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の51%を占める自動車(0.4%増)はほぼ横這いとなったものの、13%の産業機械(16.1%減)、軽電気機械(13.0%減)等が減少して4.5%減となり、⑥18.5%のその他地域向けは、アフリカ(50.1%減)、ロシア東欧等(25.5%減)、大洋州(6.0%減)がマイナスとなり、機種では53%を占める自動車(9.1%減)、産業機械(19.1%減)等が大幅にマイナスとなって4.5%減となった。

3) また、リーマンショック前の2008年1月の地域別輸出額と比較するとASEAN・南アジア、中国向けが90%台、北米向けが80%台、韓国・台湾、その他地域向けが70%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2015/11			2015/12			2016/1			対08年 1月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,387	▲ 0.8	100.0	41,544	▲ 5.6	100.0	34,914	▲ 10.4	100.0	0.80
北米	10,367	3.3	26.3	11,235	▲ 3.2	27.0	9,451	▲ 4.5	27.1	0.87
中国	7,955	▲ 9.2	20.2	8,527	▲ 8.6	20.5	6,321	▲ 20.1	18.1	0.91
ASEAN・南アジア	5,672	▲ 6.9	14.4	6,082	▲ 9.4	14.6	4,905	▲ 18.5	14.0	0.95
EU	4,690	10.1	11.9	5,351	6.8	12.9	4,471	▲ 5.3	12.8	0.59
韓国・台湾	3,549	▲ 4.9	9.0	3,859	▲ 6.5	9.3	3,300	▲ 9.0	9.5	0.76
その他	7,153	4.7	18.2	6,491	▲ 10.1	15.6	6,466	▲ 4.5	18.5	0.72

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2015/10		2015/11		2015/12		2016/1	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,908	14.2	1,668	▲ 18.3	1,902	▲ 10.8	1,535	▲ 21.2
台湾	2,000	20.7	1,881	11.4	1,956	▲ 1.8	1,765	5.0
ASEAN・南アジア								
タイ	1,703	7.4	1,586	▲ 8.3	1,638	▲ 9.0	1,318	▲ 20.7
シンガポール	1,085	16.8	818	▲ 14.0	887	▲ 4.7	792	▲ 24.1
インドネシア	662	▲ 10.1	580	▲ 16.3	633	▲ 25.7	498	▲ 23.4
マレーシア	665	4.1	592	▲ 12.3	684	▲ 8.8	565	▲ 12.2
フィリピン	650	29.0	635	9.5	596	▲ 6.3	569	▲ 0.0
ベトナム	652	20.6	631	▲ 7.3	704	▲ 11.4	477	▲ 33.7
インド	398	9.0	412	0.9	509	7.8	374	11.2
パキスタン	134	39.6	133	39.5	160	10.3	88	2.0
その他地域								
中南米	2,311	▲ 9.0	2,144	8.1	1,807	▲ 22.9	2,253	14.0
中近東	2,329	0.2	2,554	16.8	2,486	1.4	1,791	4.4
大洋州	1,261	▲ 9.9	1,232	8.8	961	▲ 5.8	1,132	▲ 6.0
ロシア東欧等	954	▲ 28.8	783	▲ 8.6	756	▲ 6.8	729	▲ 25.5
アフリカ	611	▲ 28.4	456	▲ 34.1	453	▲ 33.0	474	▲ 50.1

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中プラスは5業種。産業機械等9業種が二桁のマイナス～

1)業種別では、全21業種中プラスとなったのは5業種で、前月より2業種減少した。業種では、全体の約35%を占める自動車(5.4%減)をはじめ、16%の産業機械(18.7%減)、8%の電子デバイス(11.3%減)等の主要輸出業種がマイナスとなり、この他、軽電気機械(11.6%減)、重電気機械(19.7%減)、民生用電子機械(15.5%減)、光学機械(27.6%減)、工作機械(40.2%減)、ベアリング(20.1%減)、陸用内燃機関(12.9%減)が二桁のマイナスとなって、機械全体で10.4%減となった。

2)リーマンショック前の水準を超えたのは鉄道車輛、航空機部品、医療機械、軽機械、ベアリングの5業種で前月に比べて1業種減少し、他方、電子計算機、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2015/11			2015/12			2016/1			対08/1比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	15,391	11.9	39.1	自動車	15,805	4.0	38.0	自動車	12,211	▲ 5.4	35.0	0.76
産業機械	6,323	▲ 7.0	16.1	産業機械	7,104	▲ 9.3	17.1	産業機械	5,414	▲ 18.7	15.5	0.82
電子デバイス	2,924	▲ 11.2	7.4	電子デバイス	3,010	▲ 13.8	7.2	電子デバイス	2,809	▲ 11.3	8.0	0.77
軽電気機械	1,926	▲ 3.6	4.9	軽電気機械	2,124	▲ 6.5	5.1	船舶	2,241	4.8	6.4	0.90
重電気機械	1,783	▲ 10.6	4.5	重電気機械	1,943	▲ 12.9	4.7	軽電気機械	1,717	▲ 11.6	4.9	0.78
軽機械	1,558	▲ 2.2	4.0	軽機械	1,809	2.5	4.4	重電気機械	1,555	▲ 19.7	4.5	0.91
民生用電子機械	1,429	▲ 9.7	3.6	民生用電子機械	1,463	▲ 6.9	3.5	軽機械	1,390	▲ 7.1	4.0	1.19
光学機械	1,342	▲ 16.2	3.4	光学機械	1,386	▲ 21.2	3.3	民生用電子機械	1,247	▲ 15.5	3.6	0.47
船舶	1,154	15.2	2.9	船舶	708	▲ 22.5	1.7	光学機械	1,070	▲ 27.6	3.1	0.92
通信機械	708	11.9	1.8	通信機械	612	▲ 11.6	1.5	建設機械	865	▲ 5.7	2.5	0.76
建設機械	782	▲ 24.1	2.0	建設機械	899	▲ 29.5	2.2	航空機部品	725	▲ 1.7	2.1	1.89
航空機部品	727	5.9	1.8	航空機部品	798	4.7	1.9	通信機械	563	8.3	1.6	0.74
工作機械	626	▲ 24.4	1.6	工作機械	713	▲ 27.5	1.7	工作機械	520	▲ 40.2	1.5	0.75
電子計算機	452	▲ 16.0	1.1	電子計算機	515	▲ 11.3	1.2	電子計算機	420	▲ 7.0	1.2	0.46
医療機械	461	▲ 2.0	1.2	医療機械	547	2.8	1.3	医療機械	406	▲ 2.1	1.2	1.22
ベアリング	366	▲ 11.5	0.9	ベアリング	406	▲ 12.8	1.0	ベアリング	324	▲ 20.1	0.9	1.05
陸用内燃機関	308	▲ 13.0	0.8	陸用内燃機関	362	▲ 14.6	0.9	陸用内燃機関	296	▲ 12.9	0.8	0.80
農業機械	192	1.0	0.5	農業機械	204	▲ 5.0	0.5	鉄道車両	202	180.9	0.6	4.20
繊維機械	189	7.4	0.5	繊維機械	218	32.2	0.5	農業機械	185	11.5	0.5	0.86
産業車両	120	▲ 4.7	0.3	産業車両	130	1.2	0.3	繊維機械	142	3.8	0.4	0.74
鉄道車両	68	29.1	0.2	鉄道車両	138	38.4	0.3	産業車両	99	▲ 7.9	0.3	0.53
21業種合計	38,762		98.4	21業種合計	40,755		98.1	21業種合計	34,402		98.5	0.80

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5) 機種別動向～鉄道車輛、繊維機械、乗用車が大幅増、建設機械、発電機等が大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は4機種(前月の3機種から1機種増)で、①EU向け**鉄道車輛**(2.8倍)、②中国向け**通信機械部分品**(16.4%増)、③北米向け**農業機械**(11.5%増)、④北米、EU、中国向け**産業用ロボット**(10.9%増)であった。

2) 一方、工作機械(40.2%減)、印刷・製本機械(31.2%減)等マイナス伸び率上位10機種すべてが20%以上減少した。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2015/11			2015/12			2016/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車輛	68	29.1	鉄道車輛	138	38.4	鉄道車輛	202	180.9
受信変換その他送受信機器	166	28.7	繊維機械	218	32.2	通信機械部分品	285	16.4
乗用車	9,953	23.2	乗用車	9,785	12.1	農業機械	185	11.5
船舶	1,154	15.2	機種合計	10,141	* 24.4%	産業用ロボット	130	10.9
発電機	88	13.8				機種合計	802	* 2.3%
通信機械部分品	374	11.6						
機種合計	11,803	* 30.0%						

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品: ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信: ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
理化学用機器: 物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機: 業務用モーター
その他の光学機器: レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機機器・部分品: 重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2015/11			2015/12			2016/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
金属加工機械	231	▲ 28.0	建設機械	899	▲ 29.5	工作機械	520	▲ 40.2
デジカメ・ビデオ	328	▲ 27.1	発電機	72	▲ 28.4	印刷・製本機械	692	▲ 31.2
工作機械	626	▲ 24.4	工作機械	713	▲ 27.5	デジカメ・ビデオ	275	▲ 28.7
建設機械	782	▲ 24.1	電池	205	▲ 24.1	その他の光学機器	917	▲ 28.6
電動機	124	▲ 23.6	船舶	708	▲ 22.5	その他の重電機機器・部分品	365	▲ 25.8
その他の光学機器	1,128	▲ 17.8	その他の光学機器	1,188	▲ 22.0	電動機	112	▲ 25.2
電気・電子計測器	337	▲ 16.5	デジカメ・ビデオ	303	▲ 21.9	原動力機械	319	▲ 24.1
電子計算機	452	▲ 16.0	写真機の部分品・附属品	122	▲ 20.0	写真機の部分品・附属品	100	▲ 24.0
その他の配電制御装置	754	▲ 14.1	原動力機械	460	▲ 18.9	電池	178	▲ 23.3
電池	194	▲ 14.1	その他の配電制御装置	800	▲ 16.5	その他の配電制御装置	660	▲ 20.3
機種合計	4,956	* 12.6%	機種合計	5,470	* 13.2%	機種合計	4,138	* 20.3%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子計算機、携帯電話、乗用車等が大幅減～

1) 1月の機械輸入伸び率は3.6%減と3ヶ月連続のマイナスとなった。携帯電話(59.2%増)がプラスとなったものの、電子デバイス(9.8%減)、電子計算機(8.3%減)に加え、航空機・部品等(7.6%減)、白物家電(6.7%減)等が減少したことにより、マイナスとなった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は携帯電話、電子計算機、航空機・部品等、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換・その他送受信、時計、TVとなっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の44%を占める中国(0.1%減)、ASEAN・南アジア(9.4%減)、EU(3.3%減)、北米(7.8%減)、韓国・台湾(6.2%減)、その他地域(3.9%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2015/11				2015/12				2016/1			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,455	1.8	11.6	電子デバイス	2,380	▲ 2.8	12.4	電子デバイス	2,368	▲ 9.8	11.6
電子計算機	1,843	▲ 5.3	8.7	電子計算機	1,967	▲ 8.4	10.3	携帯電話	2,105	59.2	10.3
携帯電話	1,648	▲ 42.0	7.8	自動車部品	1,118	4.6	5.8	電子計算機	1,931	▲ 8.3	9.5
自動車部品	1,249	13.3	5.9	携帯電話	1,013	▲ 40.3	5.3	自動車部品	1,209	▲ 0.7	5.9
航空機・部品等	1,082	▲ 14.7	5.1	乗用車	949	▲ 14.3	5.0	航空機・部品等	1,100	▲ 7.6	5.4
乗用車	1,018	▲ 0.6	4.8	航空機・部品等	810	▲ 34.9	4.2	乗用車	1,011	6.9	5.0
白物家電	790	12.6	3.7	白物家電	723	4.1	3.8	白物家電	688	▲ 6.7	3.4
医療機械	691	11.1	3.3	医療機械	719	9.2	3.8	医療機械	628	▲ 0.1	3.1
配電機器	601	13.2	2.8	配電機器	550	▲ 5.3	2.9	配電機器	575	▲ 5.5	2.8
受信変換その他送受信	559	2.1	2.7	受信変換その他送受信	540	▲ 7.0	2.8	受信変換その他送受信	543	▲ 9.0	2.7
その他の配電制御装置	432	6.2	2.0	その他の配電制御装置	379	▲ 7.2	2.0	その他の配電制御装置	386	▲ 13.2	1.9
時計	387	26.8	1.8	コンデンサー等部分品	364	▲ 10.7	1.9	コンデンサー等部分品	373	▲ 5.4	1.8
12機種合計	12,755		60.5	12機種合計	11,512		60.1	12機種合計	12,917		63.3

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等